

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達療育教室 じゅら		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 15日		～ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 9月 10日		～ 2024年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育を主たる活動に据えているため、利用者様一人ひとりが集団に合わせて行動したり歩行できたりする。	定期的な集団歩行や活動に取り組み、集団の中の自分を意識した行動やマイペースさの軽減を図っていくことができている。	夏場は歩行に向かない気候であるため、室内や屋根のある中庭等でも集団行動を意識して取組める課題提供を増やしていきたい。具体的にはサーキットコースを組み、コース上を順番を守って進んでいく課題提供等。
2	集団療育や集団歩行の練習で培ったコアベース行動を、地震火災・土砂災害避難訓練等に活かし、スムーズな避難行へと導いていけること。	年に数回、地震火災・土砂災害避難訓練を実施し、利用者様へデイではどのように避難すれば良いのか、安心できるのか、を周知している。	放課後など時間が限られている日には訓練を設定し難しい面もあるが、広く利用者様へ周知徹底していくうえでも、一週間の中で満遍なく、避難訓練を実施してけるようにバランスよく計画していきたい。
3	感覚に働きかける運動を中心とした療育を提供し、なるべく意識レベルを下げ過ぎないように一日の療育を組んでいる。スケジュールはパターン化、視覚化して提示しており、利用者様一人ひとりが見通しを持って参加していけるようになっている。	学習指導や言語的な習得、アプローチは少ないが、感覚へ働きかける運動を中心とした療育提供により、まずは脳幹や意識レベルの向上を図り、小学校三年生までに必要とされる感覚統合への促しを行っている。	待機中の場に合わせた、適正な参加姿勢から求めていきたい。学校の授業で必要なスキルを養い、一定時間意識を下げずに着座し続けられるように促していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練に対してすべての利用者様が参加したり、保護者様に具体的に認識されているわけではない。	どうしても平日の下校時間の兼ね合いもあり、利用者様全員が揃って参加するまでに時間が掛かるため、避難訓練実施の日時設定の際、曜日に偏りが発生していた。	今後は満遍なく、曜日に偏りなく避難訓練を設定していき、多くの利用者様やその保護者様へ、デイの防災訓練への取り組みやその意識の周知を広めていきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達療育教室じゅら

公表日 2024年 10月 28日

利用児童数 27名

回収数 15名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			天井が高いので開放感があります。	今後も環境整備に努め、清潔で、子どもたちにとって、活動しやすい環境づくりを行います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	6	4	放デイ利用中、という括りになるなら「いいえ」ですが、今のところあまりその必要性を感じていません。（子どもたちにもスタッフさんたちにも、負担が大ききような気がして）	現在学校でお友達と関わる機会が多くある為、必要性を感じないとの意見が多いように感じていますが、ご要望に応じて検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1			必要に応じて検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2			療育参観の他、保護者会又は茶話会を年2回開催し保護者ています。きょうだい同士の交流や支援は必要性に応じて検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1				継続して職員に周知徹底すると共に、保護者会などを通じて保護者への周知にも努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1				BCPを作成し、社内研修にて職員で共有しています。内容について保護者様へ保護者会などで共有していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2			とてもとても楽しみにしています！明らかに、本人の中で生活の大きな喜びになっています。その様子を見られて、保護者側もとても救われています。	今後もお子さんが意欲的に参加できる活動を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				安心感がとても大きく、本当に信頼できる事業所さんだと、何年も感じています。子供の成長に、あたたかく適切なタイミングでいつもサポートいただき感謝の気持ちでいっぱいです。いつも寄り添い、向き合って良き方向に指導ありがとうございます。感謝しております。	今後もお子様、保護者様共に満足していただけるように、質の向上に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
発達療育教室 じゅら		2024年 10 月 28 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		特に自由時間では、室内の人数調整のため中庭も活用しながら適度な児童へのスペースを確保している。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子どもの動線に配慮して環境づくりを行っている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		古い建造物のため、所々壁の木材が痛んではいる。ささくれだったか所については、テープで保護をして怪我の防止を	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		主にクールダウンの場として、集団活動の場とは別に学習室を用意している。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々のミーティング等で行われている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々の引継ぎの場で行っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後スーパーバイズを含め、第三者の視点やアドバイスなどを受けられる機会を設け、業務改善に役立てていけるよう検討していきたい。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々のケア記録から職員間で共有し、支援への対策や工夫に活かしている。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	児童が将来的に自らの力で問題を判断、解決していけるよう、場面や人に適した言動を学ぶための集団療育を念頭に行っている。活動中は集団に合わせた行動を、自由時間などでは他児との遊びから職員を介してコミュニケーションやその関わり方を学べるように促している。	集団活動を主とした療育のため、あまり行っていないと感じる。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		5		相談支援事業所や学校なども含めて、未だそのような機会を求められたケースが無い。もし仮にそのような場が設けられた際には、児童発達管理責任者が管理者が担当する予定である。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		主に保護者様を通じて、情報や改善策の共有は行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		主に保護者様を通じて、学校行事や下校時間、トラブル等の状況共有はなされている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		多機能型の事業所である特性上、隣接する児童発達支援より保護者様の了承のもと、就学前関係機関の情報等は把握できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		小学校卒業実績のみであるため、中学校への情報提供は保護者様の求めに応じて行ったが、それ以外の関係機関とはまだない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		今後検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		時々、自発管や管理者以外の職員も参加していけるように検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		主に当日ご利用の方を中心に、日々アプリを活用しながら情報の共有や事例報告、改善策の相談等行われている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		個別の相談は日々のやり取りや面談の機会に行っているが、ペアレント・トレーニングの場や研修などの企画までには至っていない。今後は求めに応じて検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			日々の相談時や、半年に一度の支援計画見直し等の機会により、個々の意見や意向は伺っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			保護者様からの求めや必要に応じて、家族支援や個別面談を行っている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			月に一度の療育参観を開催し、集団療育を受けているお子様の様子を見て頂いている。また、年に少なくとも一回は保護者会の場を設け、保護者様からの質疑応答に応じたり、保護者様同士の会話の場としても提供している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			苦情や問題発生時の連絡体制組織図を各事業所間で共有、可視化し、都度必要に応じて順次、なるべく当日中ないしは翌日には対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			主にアプリを活用し発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			毎日の終業時に、ロッカーへ保管し施錠している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			各委員会を設け共有し、研修や訓練を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			非常時の組織体制図や事業継続方針・計画を作成。年度ごとに地震火災訓練、土砂災害訓練などを行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			契約前から年度ごとに、保護者様へアセスメント内容の見直しを依頼。必要に応じて内容の更新・修正を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	おやつの保管場所に、保護者様から頂いた情報をもとに作成したアレルギー一覧表を提示。日々確認している。	保護者様からの聞き取りで対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			緊急時のマニュアル(保護者様向け)の中に、事業所としての避難場所や連絡先の優先順位等を記載している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			虐待防止委員会を設け、委員長より各事業所へ周知、報告、研修が行われている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			個別支援計画書の中に明文化して記載し、契約時に個別にお伝えしている。	